

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-3-2	事務事業名 緊急物資、防災備蓄倉庫整備事業	所管部課 環境防災部防災課
--------------	--------------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 災害時に火災や建物倒壊等により住宅を失った市民の方が避難所で一時的に生活できるよう、防災備蓄倉庫を整備し、食糧・生活用品・医薬品等を備蓄する。	総合計画上の位置づけ (政策)災害に強いまちづくり (施策)緊急物資の確保 (主要施策)緊急物資の充実、防災備蓄倉庫の整備
	実施内容、実施方法 食糧・生活用品・医薬品等を計画的に購入している。倉庫については、年4基建設している。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 倉庫整備数	活動指標の考え方(定義) 1年間に整備した倉庫数(総合計画における目標数)
	食料の入替え数	賞味期限切れに伴い入替えた食品数
	成果指標名 全備蓄率	成果指標の考え方(定義) 備蓄品入替え数 / 全備蓄品数
	トイレの備蓄率	想定避難人口に対する備蓄率達成率

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		33,861	29,686	31,235	29,560	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他				7,000		
	一般財源		33,861	29,686	24,235	29,560	
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	34,686	30,513	32,068	30,393	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(倉庫整備数)	千円			8,017		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	箇所			4	4
		実績値	箇所			4	
	活動指標	目標値	食			40,000	40,000
実績値		食	40,000	40,000	40,000		
成果指標	目標値	%			20	20	
	実績値	%	20	20	20		
成果指標	目標値	%			46.78	54.09	
	実績値	%	36.92	40.94	46.78		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各市同様である。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 5-3-2	事務事業名 緊急物資、防災備蓄倉庫事業	所管部課 環境防災部防災課
--------------	------------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	倉庫の整備、備蓄品の入替えのいずれも予定どおり実施した。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	緊急物資の備蓄は必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	28ヶ所の避難所に適正に配置している。経費も適正である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	全避難所に備蓄倉庫を順次配備する計画を進めており、公平性に問題はない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	備蓄計画に基づき、購入している。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。